

上郡町人権啓発ビデオライブラリー (テーマ別)

上郡町教育委員会
令和8年3月作成

【ご利用にあたって】

○上郡町教育委員会では、人権啓発用ビデオの貸出等を行っています。

○学校や職場、地域での学習会など、対象や目的に合わせて研修が行えるように、さまざまな

視点からの啓発ビデオを用意していますので、研修・話し合いなどにご利用ください。

1. 利用案内

①まず、ご希望の作品が使用できるかお電話でお問い合わせください。

②啓発ビデオを取りにこられたときに、借用書を書いてください。

(問い合わせ先) 上郡町教育委員会 生涯学習課 生涯学習支援センター

TEL 52-1125

2. 貸出期間 原則として、7日間以内

3. 貸出本数 原則として、3本以内

4. 返却方法 原則として、借用にこられた本人がご返却ください。

また、返却期日は厳守してください。

5. その他 万一、ビデオを紛失・破損した場合には、速やかに連絡してください。

場合によっては、弁償をしていただくこともあります。

目 次

人権全般	P 1～
障がい	P 8～
同和問題	P 11～
子ども	P 14～
命の尊さ	P 16
外国人	P 17
高齢者	P 18～
ハラスメント・職場	P 20～
インターネット	P 22～
ハンセン病	P 24
性的指向・性自認	P 25
犯罪被害者等	P 26
女性・男女共同参画	P 27
平和 東日本大震災	P 28
新型コロナウイルス感染症 アイヌの人々	P 29
刑を終えて出所した人 拉致問題 その他	P 30

人権ビデオ・DVD作品 (テーマ別)

[テーマ] 人権全般

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-4	一般	私の好きなまち	35分	17年	誰もが体験しうる身近な問題を取り上げながら、同和問題を今日的な視点から見つめ直し、「それぞれの違いを認め合い、共に生きる」「相手を思いやる」「夢をもって生きる」ことの大切さを私たちに訴えかけています。
D-10	企業 職場 一般	人権を行動する ーその時あなたは どうしますかー	25分	19年	暮らしの中で人権を守ることの大切さは分かっているが、それを行動に移せないことは多いのではないのでしょうか。セクハラ・個人情報・同和問題の3つのケースについて、そのとき、人権をいかに行動するかを考えます。
D-12	一般	人権入門	23分	19年	ある男性の一日を追い、その日の出来事の中で、「人権を考える10のチェックポイント」を用意し、日常の中の身近な人権を改めて考えていきます。
D-13	企業 職場 一般	企業に求められる人権意識とは？	25分	18年	企業が社会の中で果たすべき責任はますます大きくなっています。企業には、単に利潤を追求するのではなく、よりよい社会を築くために努力することが求められています。この作品は、企業に求められる人権意識のあり方を、若い社員の目を通してわかりやすく描き、問題提起するものです。
D-15	一般	人権と向き合う	29分	18年	「障がい」「ハンセン病」「部落差別」の3つの人権課題から、人の中にある偏見や思い込み、さらに未だに残る根強い差別意識について考えます。
D-19	一般	親愛なる、あなたへ	37分	21年	現在、核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっています。無関心、無理解という冷たい壁を破って温かい見守りと相互支援の大切さを訴える作品です。

D-28	一般	日常の人権 －気づきから行動へ－	23分	21年	日常生活の中に潜む「女性の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」について、ドラマで人々の心にある偏見を、ドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。
D-29	一般	日常の人権Ⅱ －気づきから行動へ－	23分	21年	日常生活の中に潜む「外国人の人権」「障がい者の人権」「部落差別」「インターネットでの人権侵害」について、さまざまな角度から考えることができる作品です。
D-35	一般	ボクとガク あの夏のもの たり (アニメーション)	42分	22年	希望(のぞむ)と岳(がく)、二人の子どもと近所に住むおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権や地域の人権文化に目を向ける作品です。また、おばあさんの経験を通じて、私たちが決して忘れてはならない「戦争と平和」の問題についても考えます。
D-36	一般	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	25分	22年	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集まってきます。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していきます。
D-38	一般	もったいないばあさんと考えよう 世界のこと	DISC 1 41分 DISC 2 19分 DISC 3 10分	21年	地球の問題と厳しい環境で暮らす世界の子どもたちの現状とそれらの問題が私たちの暮らしとどのようにつながっているかを、命の大切さを伝える「もったいない」という言葉のメッセージとともに語りかける作品です。 DISC 1 「地球でおきている10の問題」 DISC 2 「世界の10人の子どもたち」 DISC 3 真珠さんがインドを訪れた映像
D-44	一般	桃香の自由帳	38分	23年	東日本大震災後、改めて見つめ直されている「人と人とのきずな」。この作品は、劇的な事件は描かず、どの地域でも起こりうる出来事に光をあて、日常の何気ない言動を振り返ることで、私たちが見失いつつある、人と人との寄り添い、共に生きる暖かな世界とは何かについて語りかけています。
D-46	一般	探梅 春、遠からじ	40分	22年	この作品では、北九州市が展開する「いのちをつなぐネットワーク」を取り上げながら、「包み込む社会」に焦点を当てています。人と人とのつながりや助け合いの根底となる人権尊重について考えていきます。

D-49	企業 職場 一般	それぞれの立場それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権	28分	23年	一連のドラマの中で、日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げ、年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って、問題解決のヒントを示していきます。ダイバーシティの理念を学べる作品。
D-50	一般	ほんとの空	36分	24年	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題などの人権課題に共通するのが、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」。この誤解や偏見に気づき、人と深く付き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うなど、自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうことを目的とした作品。
D-54	一般	ヒーロー	34分	25年	近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっています。いわゆる血縁や地縁、社縁の希薄化による「無縁社会」と呼ばれる社会状況の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく、主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感できる作品です。
D-55	一般	あなたの偏見、わたしの差別 ～人権に気づく旅～	30分	24年	身の回りにはさまざまな人権に関する問題や課題がありますが、自身の問題として考える機会は少ないのではないのでしょうか。本作では若者4人とともにそれらの人権問題に気づき、体験し、感じることができる作品です。 ※他、特典映像27分収録
D-56	一般	家庭の中の人権 ～生まれ来る子へ～	25分	25年	「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにおける人権問題をクローズアップし、気づくこと、そして行動することの大切さを描いた作品です。
D-57	一般	虹のきずな	31分	24年	差別に対する「傍観者」「無関心」という立場に焦点を当て、さまざまな問題を自分の問題として引き寄せて考えること、人と人がしっかりとコミュニケーションを取ること、お互いを一人の人として認め合うこと、自立した考えや行動を取ること、の大切さを訴える作品です。 ※他、特別編集版（絵本パート）16分収録
D-58	一般	だれかのそばで ～on the other side～	30分	21年	毎日が自分のことで精一杯な中学生、高校生たちの世界がひろがる4つの「出会い」を映像を通して体験し、彼らを取り巻く人たちを見つめ直すことを通じて、自分の存在意義について考えるきっかけとなる作品です。

D-61	一般	ぼくとママの黄色い自転車	95分	21年	父とふたりで横浜に住んでいる小学3年生の大志は、母が小豆島にいることを知り、母からもらった黄色い自転車に乗り、愛犬のアンを連れて小豆島に向かって旅に出る。母が記憶を失う病気だとは知らずに。2009年劇場公開作品。 ※個人視聴に限る。
D-65	一般	家庭の中の人権カラフル	31分	26年	「“人権”の問題は、“人間”の問題」。人権に対する意識の基盤は、家庭の中で育まれていきます。両親と人権の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げ、一人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話すきっかけとなる作品です。
D-69	一般	人権は小さな気づきから	34分	26年	人権は心の問題であり、命の問題です。一人ひとりが人権に対する意識を少しずつ持つ事で、救える命もあります。この作品は、身近な人権問題に気づき、普通の生活の中で人権問題を意識させるために「こんな時、あなたはどうしますか?」と身近な人権問題8項目を題材に気づきを促します。
D-70	一般	imagination イマジネーション ～想う つながる 一歩ふみだす～	34分	25年	ラジオ局で番組パーソナリティを務めるサヤカの元には、今夜もリスナーからの相談の便りが届く。現代社会に悩む様々な人々が番組を軸に心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマ教材。
D-75	児童生徒一般	未来の拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	46分	26年	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の回りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。この作品は、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介しています。
D-81	一般	国際連合創設70周年記念 すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～	35分	27年	世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権課題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、4つの人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。
D-82	一般	聲の形	30分	27年	原作の物語は、現代の子どものリアルな表情を描きつつ、「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを自然に考える事のできる優れた物語です。本作は原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材です。

D-85	児童 生徒 一般	ココロ屋	30分	26年	「ココロ」とは何でしょう？これは、私たちにとって永遠の謎であり、自分の「ココロ」を問い続けることが、私たちの人生のテーマです。「ココロ屋」はこの謎に向かい合うためのヒントとなる優れた児童文学を原作にしたアニメーションです。自分の心を大切に、相手の心も大切にするという、人権教育の基本的な考え方が盛り込まれています。
D-86	一般	光射す空へ	32分	27年	同和対策審議会答申が出されて50年、同和地区の生活環境は大きく改善しましたが、差別は形を変えて根強く残っています。また、十分に認識されていない人権課題として、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見があります。この映画は大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さが描かれ、誰もが人権を尊重され、自分らしく生きていける社会について考える作品です。
D-90	児童 生徒 一般	わたしたちが伝えたい、大切なこと - アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品 -	31分	28年	本DVDは「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品を原作とした3つのアニメーションで構成されています。どの作品も日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスが描かれています。
D-93	一般	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	35分	28年	あなたには「心のよりどころ」がありますか？忙しい日常に追われて誰かと「心を交流する」ことをおろそかにしていませんか？本DVDは小さなカフェを訪れる人たちの身近な出来事を通じ、「心の交流」について考える作品です。 収録テーマ：「インターネット」、「高齢者」、「外国人」
D-95	企業 職場 一般	企業と人権 ～職場からつくる人権尊重社会～	24分	29年	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きくかわります。本DVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成されています。
D-99	一般	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅱ 個に向き合い、伝えあう	25分	27年	外国人社員や障がいのある社員の増加等、あらゆる場面で職場の多様性が進む現代社会。個人が、相手の多様性（個）に目を向け、それを尊重するコミュニケーションをとることが必要となっています。企業の多様化が原因で発生する人権課題とその解決のヒントについて分かりやすく描くドラマ教材です。
D-112	一般	家庭からふりかえる人権 話せてよかった	27分	令和元年	日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合う内容となっています。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとなる物語です。

D-113	児童生徒一般	くうとしの ~あなたがそばに いるだけで~	12分	令和2年	認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてあげることができるでしょうか。年も離れていて、性別も違う犬と猫の関係性を通して、自然と考える事ができる、心がほっこりする物語です。
D-114	一般	シェアしてみたらわかったこと	46分	令和元年	上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしている個性豊かな住人たちと時間、空間、思いをシェアして初めて分かったことを描いています。収録テーマは、外国人に関する人権、性自認や性的指向に関する人権、外から見えにくい障害のある人の人権、災害時の人権となっています。
D-118	一般	夕焼け	35分	令和3年	ケアは他人事ではなく、だれもが当事者になり得ます。この作品では「ケアラー~だれもが人権尊重される社会を~」をテーマに、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。年齢属性を問わず、共に助け合える社会の実現をめざす内容となっています。
D-134	一般	言葉があるから 無自覚の差別「マイクロア グレッション」	31分	令和5年	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。
D-141	児童生徒	みらいロボット ミーとハットのはなまるク イズ	12分	令和5年	お互いの違いを認め、尊重し合うことは人権の基本です。この作品はみらいロボットのミーとハットがクイズを出して、視聴している子どもたちと一緒に考えます。みんな違っていて誰もが素晴らしい存在であることを伝え、相手を思いやる心を育みます。
D-144	一般	見上げれば	33分	令和7年	ひきこもりの背景や状態は人それぞれですが、長期化すると本人や家族の人生に深刻な影響を与えます。地域社会との関わりが乏しく存在が見えづらいため、家族だけで悩みを抱え込む現実があります。この作品では、できるだけ早い段階で適切な支援につながることの重要性、信頼できる他者とのつながりや、寄り添ってくれる人のいる「居場所」が回復のきっかけになることを伝えます。どのような状況の人にも、寄り添い合い、誰もが支え合える社会の実現をめざし制作されたドラマです。

D-145	児童	ねずみくんのきもち	11分	平成19年	ロングセラー絵本「ねずみくんのきもち」を映像化。いじめやコンプレックスなどのテーマを一緒に学べる楽しいアニメーションです。幼児・小学生低学年向け。
D-146	一般	みんな笑顔になる日まで	28分	令和4年	自分の身近にいる人が何らかの困難を抱えていると気づいたとしても、どうやって手助けすれば良いのか、わからないことはありませんか？ 本作品は「ヤングケアラー」や「若年性認知症」の人を通じ、支援を必要としている人々のことを正しく理解し、どのように関わっていくか考えるきっかけになるドラマです。
D-147	一般	君の景色を知ったとき	30分	令和7年	私たちが身近に使うサービスが、人にとっては簡単に利用できないことがあります。本作品は、障がいのある人や、外国人、子どもや高齢者など、多くの人にとっての「当たり前」を不便に感じる人がいることに気付くこと、それを支え合うことの大切さを描いたドラマです。
D-148	児童	むしむし村の仲間たち みんないいところだよ	13分	平成29年	外見や能力が異なるむしむし村の昆虫キャラクター達。時には、それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、自分なんてダメなんだと悩んだりもします。でも、誰でも苦手なこともあれば、得意なこともあります。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやること。そして仲間と助け合っていくこと。そんなことを、子供達が楽しく学んでいけるアニメーション作品です。
D-149	児童	ええことするのは、ええもんや！	14分	令和5年	原作の「ええことするのは、ええもんや！」は何のために「ええこと」をするのか？ボランティアの本質について子供たちに考えるきっかけを与える優れた物語です。「相手を思いやる心とは？」「ボランティアって誰のためにするの？」「友情って何だろう？」そのようなことを子供たちが考え話し合うためのアニメーション作品です。
D-150	一般	窓の向こうへ	36分	令和5年	本作品は以下の3つのテーマ毎に短編ドラマと解説が収録されています。それぞれの上映時間は約10分間です。 ①犯罪被害者やその家族の人権 通り魔事件の被害者とその家族が受けた被害や、性被害を描き、犯罪被害者への寄り添い方について考えます。(性暴力に関する内容を含みます) ②ヤングケアラー ヤングケアラーの小学生を描き、ヤングケアラーに対する支援や寄り添い方を考えます。 ③インターネットによる人権侵害 何気なくインターネットで発信したことで自分たちが不特定多数から非難される様子を描き、ネット上の人権侵害を学びます。

[テーマ] 障がい

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-1	児童 生徒 一般	エールを贈るバス	29分	16年	心を傷つけたことへの謝罪から始まった、主人公の少女と障がいのある少女との交流。姫路セントラルパークなど各所を舞台に、同じ社会の一員として認め合うことの大切さを描いています。
D-6	企業 職場 一般	企業と人権 構えない 隠さない 飾らない ～障害者雇用最前線～	36分	18年	特例子会社から地域の独立企業、街の洋菓子店まで、自前の知恵と工夫で障がい者雇用に取り組む最新のユニーク7事例を取材。決められたから守る、義務だからやるという消極姿勢とは無縁に、障がい者の隠れた「能力」豊かな「才能」に気づき、引き出すための具体策が満載です。
D-11	一般	今日もよか天気たい	35分	19年	視覚障がいのある一人の女性“京子”を通して、周りの人たちが自分の心の中にある偏見や差別に気づいていきます。生きるとは何かを気づかせてくれる作品です。
D-16	一般	自閉症の子どもたち ーバリアフリーを目指してー	30分	18年	自閉症を正しく理解し、当事者とその家族がどのような支援を求めているのか、同じ地域に住む仲間としてどのような手助けができるのか学んでいきます。
D-30	一般	障害のある人とのふれあいと 人権 ー今まで声をかけられなかった あなたへー	23分	20年	「本当のバリアフリーは、心のバリアフリーから始まる」をテーマに、障がい者が社会参加するために、自分たちに何ができるかを考えるきっかけになることを目指した作品です。
D-33	一般	Andie Freude ー歓喜を歌うー	80分	19年	障がいをもつ人々を中心に結成された合唱団<私たちは心で歌う・目で歌う>による東京芸術劇場でのコンサートのドキュメンタリー。練習風景、コンサートに寄せる想い、また、家族やサポーターたちの様子を丹念に追った感動作品です。
D-47	一般	モップと箒 ー大阪発障がい者雇用ー	55分	23年	障がい者雇用の場は広がりつつあるといわれているが、働きたい障がい者はまだ数多く存在する。エル・チャレンジに関わった知的障がい者と支援者の姿を一年半に亘り密着取材した作品。

D-62	一般	だいじょうぶ3組	118分	24年	大ベストセラー「五体不満足」の著者である乙武洋匡が、3年間にわたる小学校教師としての実体験をもとに描いた自伝的小説を映画化。2012年劇場公開作品。※個人視聴に限る。他、特典ディスクあり。
D-64	一般	秋桜の咲く日	34分	25年	「目に見えにくい違い」の一つである発達障がいを取りあげ、発達障がいのある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えます。
D-80	一般	親と教師のための 自閉症の人が見ている世界 ～自閉症の人を正しく理解する～	DISC 1 63分 DISC 2 39分 DISC 3 85分	27年	第1巻 自閉症の人の学習スタイル 「視覚的に考える」「独特の注意の向け方」など、自閉症の人の「学習スタイル」をわかりやすく解説しています。 第2巻 自閉症の人が好むこと 特性への理解や配慮が、自閉症の人の教育や支援する人に求められています。 第3巻 13人のエピソード 自閉症のご本人やご家族の発言には、深い意味と重みがあります。本作は「自閉症の人が見ている世界」を見事に語っています。
D-87	一般	風の匂い	34分	28年	子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」だった二人。しかし、大人となって再会した二人を隔てる健常者と障がい者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなる作品です。
D-101	一般	知りたいあなたのこと ～外見からはわからない障 害・病気を抱える人～	21分	令和元年	外見からはわからない障がいや病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障がいや病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといます。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障がいをもつ大学生を取材しました。
D-102	一般	お互いの本当が伝わる時 ～障害者～	24分	30年	障がいのある人をどう手助けすればいいのかわからないという声をよく耳にします。今作では、障がいのある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなど具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また障がいのある人から発信することの重要性も示しています。
D-121	一般	障害のある人と人権 誰もが 住みよい社会をつくるために	32分	30年	障がいのある人もない人も誰もが住みよいユニバーサル社会をつくるためにはどうしたら良いのでしょうか。この作品は、障がいのある人が直面する人権問題やその問題を解決するための取組などを具体的に紹介し、「障がいのある人と人権」について考えてもらうことを目的としています。

D-123	一般	知りたいあなたのこと 視覚 障がい者の生活・気持ち	21分	令和3年	視覚に障がいを持つ方々は、いろんな場面で危険や不安を感じながら生活を送っています。この作品では、3人の全盲の方と1人の弱視の方に取材しました。一体どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。今作は、視覚に障がいを持つ方々の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。
-------	----	------------------------------	-----	------	---

[テーマ] 同和問題

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-23	一般	部落の歴史 (中世～江戸時代) ～差別の源流を探る～	27分	19年	部落差別は江戸時代の身分制度が原因ではなく、中世から差別意識が続いてきたことがわかってきました。この作品は、中世以降なぜ部落が差別されるようになったかを検証し、差別の本質を考え現代の差別と向き合う姿勢を問います。
D-24	一般	部落の歴史 (明治～現代) ～近代化が存続させた差別～	26分	19年	解放令により制度としての部落はなくなりましたが、差別意識は解消されず、急速な近代化と資本主義の発展の中、被差別部落は持続しました。貧困や格差といった今日的な問題を、近代の部落問題ははらんでいるのです。
D-37	一般	私の中の差別意識 部落差別問題から考える	24分	22年	部落差別問題についてドキュメンタリーを通じ、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのかを考えるきっかけを提供し、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝える作品です。
D-63	一般	あなたに伝えたいこと	36分	26年	同和問題を正面から取り上げ、この問題が決して他人事ではないこと、正しく知ることが同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決につながることを描くとともに、インターネットの持つ危険性に対して、私たちがどのように向き合っていけばよいか問い直します。

D-72	一般	①同和問題 ～過去からの証言、未来への提言～ ②同和問題 ～未来に向けて～	①61分 ②19分	26年	①我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発担当職員が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめた啓発映像です。 ②我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当てた啓発映像です。同和問題について、ドラマを中心に、関係者の証言や解説等を交えて分かりやすく簡潔にまとめています。
D-108	一般	今そこにいる人と、しっかり 出会う～同和問題～	24分	令和2年	この作品は、同和問題について理解を深めると同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品となっています。ドラマ形式で描かれていませんので、それぞれの登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。
D-109	一般	「部落の心を伝えたい」ビデオ シリーズ ネット差別を許 すな！～川口泰司～	28分	令和元年	今、ネット空間を主に部落差別が展開されています。この作品では、ネット差別の現実を解説し、何が問題で、どう解決するのかについての道筋を示します。無知・無理解・無関心な人ほど危ないネット社会の危険性と構造を解き明かし、行政、企業、個人でのネット対策を提起しています。
D-120	企業 職場 一般	許すな「えせ同和行為」～あ なたの会社を不当な要求から 守ろう～	36分	令和2年	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実に、企業・個人などに不当な利益や義務のないことを求める行為です。同和問題に関する誤認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となります。この作品では、「えせ同和行為をはじめとする不当要求行為」の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を紹介しています。
D-135	一般	破戒	119分	令和3年	瀬川丑松（間宮祥太郎）は、被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。 友人の同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えがあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。苦しみの中、丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎（真島秀和）に傾倒していく。 猪子宛に手紙を書いたところ、思いがけず猪子と対面する機会を得るが、丑松は猪子にすら、自分の出自を告白することができなかった。そんな中、猪子の演説会が開かれる。 丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を覚えるが、猪子は演説後、政敵の放った暴漢に襲われる。 この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。

D-136	一般	大切な人	34分	令和5年	インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強い社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。
D-138	児童生徒	シリーズ映像でみる人権の歴史 ひとと皮革（かわ）の歴史	18分	令和元年	「死は穢れている」という差別につながる考えさえも、ほかならぬニカラワでできた墨の文字や絵の助けを借りて、社会へ広がっていきました。このDVDでは、皮革製品の製造過程を取材した貴重な映像を通して、部落差別の愚かさや「いのち」の大切さを考えさせる教材としました。
D-142	児童生徒	ヒューマン博士と考えよう～差別から人権の確立へ～	28分	平成17年	部落差別の歴史をひもときながら、差別された人々の生産と労働、芸能や文化への関わりを、ヒューマン博士がわかりやすく解説していく。学校では、人権学習の「導入」や「まとめ」の教材に、また、地域や職場においては、今日の部落史観に基づく啓発資料として幅広く活用することができる。同和問題への理解をより一層深めていくことができきる作品。

[テーマ] 子ども

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-9	企業 職場 一般	こころに咲く花	35分	19年	今、学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ、セクハラが人権侵害として大きな社会問題になっています。このドラマでは、いじめの構造の中で多数を占める傍観者、観衆たちが一歩踏み出して、勇気を持って声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかけます。
D-18	児童 生徒 一般	本当の友達	50分	19年	群馬県前橋市の大胡小学校の映画クラブの児童が、いじめをなくすという強い気持ちをもって、子どもたち自身でシナリオを考え、撮影まで行った作品です。
D-51	児童 生徒 一般	いじめと戦おう！ 小学生篇 ～私たちにできること～	21分	24年	いじめはどのようにして起こり、どのようにすれば防げるかを知っておくことは、児童にとって必要なことと言えます。この作品は、鑑賞した児童が、いじめの当事者・被害者・傍聴者の立場を理解し、考えることができる教材です。
D-52	児童 生徒 一般	いじめと戦おう！ 中学生篇 ～もしもあの日に戻れたら～	23分	24年	いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるかは保護者や教員にとって大きなテーマと言えます。この作品は、鑑賞した生徒がいじめのメカニズムや対策を自分の身に置き換えて考えることができる教材です。
D-68	児童 生徒 一般	ぼくらの誇り ～心の傷とどう向き合うか～	20分	26年	今、いじめ、家庭内暴力、虐待など、子どもたちの心に深い傷を残す事案が続いています。子どもたちはそれらとどう向き合い、乗り越えていけばいいのか……。ある被災した地域の小学校の取り組みが生んだ、子どもたちの心の回復、そして地域への誇り。その姿を通じて、同世代の子どもたちがいじめ、虐待といった問題に必要な「生きる力」について語り合います。
D-84	一般	この子に家庭の幸せを！ 里親制度を考える	21分	27年	日本では、家庭で暮らすことができない子どもが約36,000人で、その約86%が乳児院や養護施設で集団生活を送っています。「里親制度への周知が進んでいないこと」などから里親の家庭で暮らしているのは4,000人余りに過ぎません。このDVDは、「養育里親になって乳児院から子どもを迎え入れるまで」の過程をドラマ形式で描きます。同時に、里親制度とはどんなものなのか、専門家の解説もまじえ、実際の里親に体験談を聞き、わかりやすく解説しています。
D-96	一般	君が、いるから	33分	30年	この作品は、子ども、若者の人権がテーマです。母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人との支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす内容となっています。

D-124	児童 生徒	ズッコケ三人組のいじめをなくす作戦	15分	令和2年	この作品では、ズッコケ三人組のクラスの中でいじめが起これ、その問題を三人組のメンバーが、どう考え、どのように話し合っ解決へと導いていくか、そのストーリーを展開しながら、いじめは絶対してはいけないという強い意識を持ってもらい、思いやりの心を育むことが大切であることを訴えていく内容です。
D-131	一般	あなたは大丈夫？ 考えよう！児童虐待	33分	令和6年	近年、全国の児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数は一貫して増加し、令和4年度には約22万件と過去最多になっています。こどもの生命にかかわる重大な児童虐待事件も後を絶たず、児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。このようなこどもを取り巻く深刻な状況を改善するため、児童虐待防止に関する正しい知識を身に付けるための動画を製作しました。
D-132	児童 生徒	あなたは大丈夫？ 考えよう！いじめ ～一人で悩まず相談しよう～	29分	令和6年	令和4年度の学校におけるいじめの認知件数が約68万件と過去最多になるなど、こどもを取り巻く状況は深刻化しています。最近のいじめは、SNSなどのSNSなどのインターネット上で行われることがあり、学校や親など周りから見えにくくなっています。また、きさききかけから深刻ないじめへと発展するケースも少なくありません。このDVDでは、いじめをなくすためにはどうすればよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに、学んでいく教材となっています。
D-137	一般	あなたのいる庭	35分	令和6年	社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしているこどもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートを得られずに生きる人たち（ケアリーパー）がいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見い出せず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。次代の社会を担うこどもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。「こどもの人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。

[テーマ] 命の尊さ

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-25	一般	生きること死ぬこと	22分	18年	ホスピスで出会った少女が亡くなるまで交流し、命をテーマに歌い続ける歌手。死と向き合うホスピスの医師の思いと入院患者の願い。自宅出産のドキュメントと家族の喜びなど、命の現場をつづったドキュメント作品。
D-34	一般	クリームパン	36分	22年	子どもへの虐待や若者の自殺などの社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、「いのち」についてあらためて自分の問題として考えることが出来る作品です。
D-43	一般	八月の二重奏	45分	22年	大学のキャンパスの喧騒の中、美保の脳裏に5年間の妹との闘病の記憶がよみがえる。自らも骨髄の提供をして妹を支えたこと。輸血用血液が足りず、県外からの血液到着を心待ちにしたこと。いつか姉妹で二重奏を奏でるために、ピアノとヴァイオリンを奏でたこと。それは生きることそのものだった。そして献血がそれを支えてくれたことを…。
D-60	一般	ブタがいた教室	109分	20年	新任教師と26人の小学生が挑んだ「ブタを育て食べる」授業。卒業までの1年間、真剣に「いのち」と向き合った感動の実話を完全映画化。2008年劇場公開作品。 ※個人視聴に限る。
D-98	一般	いのちに寄り添う ～ターミナル ケアと人権～	35分	29年	もしも、あなたの身近な人が、重い病になったとしたら？このビデオでは二組の「いのちに寄り添う」人々に密着取材をしています。二人に一人がガンになる時代、病気や死と向き合う覚悟を決めること、正しい知識を身につけることは、自分や自分の大切な人の「いのちの尊厳」を守ることもあります。現在に生きる全ての人々が学ぶべき命の教材です。

[テーマ] 外国人

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-8	一般	ひろがれ チャンゴの響き	38分	18年	兵庫県の東はりまマダンの活動を通して、在日外国人と地域の人々の温かい交流がチャンゴの響きとともに、国境を越え広がっていく感動の作品です。
D-88	一般	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	33分	28年	本DVDは、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているかを学びます。
D-100	一般	サラーマット ～あなたの言葉で～	36分	令和元年	「SNS時代における外国人の人権」をテーマに、主人公が新しく職場に来た外国人との対立や交流を通して新たな視点に気づいていくストーリーとなっています。また、SNSを傷つけるための道具ではなく、人の心をつないでいくために利用する様子を描きます。異なる文化の人たちと、多文化共生社会の実現をめざす人権啓発教材です。

[テーマ] 高齢者

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-7	一般	老いを生きる	35分	18年	認知症の高齢者をかかえる家族と、地域・行政のこころ温まるかかわりから、日常生活の中で高齢者に対する思いやりの心が、態度や行動に表れるよう人権感覚を身につける作品です。
D-20	一般	夢のつづき (アニメーション)	40分	21年	家族の中で疎外感を抱く高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な毎日を送る若者らが、世代の異なる者とのふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができるようになっていく作品です。
D-26	一般	社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴こえますか	30分	19年	この作品は、社会福祉施設等の入所者に対する身体的、心理的虐待などについて「ひとり芝居」を中心に、「専門家による分析・解説」「具体的な取組事例」の3つの要素で構成されており、大切なことは何かということをはっきりやすく紹介しています。
D-77	一般	ここから歩き始める	34分	27年	「認知症を共に生きる」をテーマに、超高齢社会のあり方を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えています。認知症の親をもつ主人公とその家族の中で繰り上げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなる作品です。
D-107	一般	カンパニユラの夢	36分	令和2年	「超高齢化社会とひきこもり(8050問題)」をテーマに二つの家族の視点で進行するストーリーです。急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることと認識し、地域の人々が、ひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマとなっています。
D-126	一般	「やさしく」の意味 —おばあちゃんは認知症だった—	33分	令和元年	この作品は、福井県敦賀市で開催された小中学生の認知症サポーター作文コンテストで、最優秀作品に選ばれた小学生の作文を脚色し、ドラマ形式の教育映画にしたものです。全国の認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会。一人一人が安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを示唆していくものです。

D-139	一般	母のさがしもの 認知症とともに生きる	32分	令和6年	認知症は人によって症状も様々です。この教材は、ある家族の視点を通じて、症例を織り交ぜながら認知症に関する理解を深め、認知症の人の不安や家族の悩みを知り、本人や家族の孤立を防ぐために介護者や地域の交流の重要性を示すと同時に、本人の気持ちに寄り添うことの大切さを学ぶドラマ形式の映像教材です。認知症の人を含むすべての人が相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら『ともに生きる』社会の実現をめざして、このドラマ教材を制作しました。
D-140	児童 生徒	おばあちゃんは認知症 ～お兄ちゃんからの手紙～	15分	令和6年	認知症の症状が進んだおばあちゃん、部活動も勉強も上手くいかず自分を見失っていた中学生の男の子とその家族、先の戦争で若くして亡くなったおばあちゃんの兄たちが織り成す物語を通して、認知症の人との接し方・相手を思いやること大切さ・命と平和の尊さを伝えるアニメーション作品です。

[テーマ] ハラスメント・職場

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-31	企業 職場 一般	私が私らしくあるために 職場のコミュニケーションと 人権	26分	21年	コミュニケーション不足から相手の立場や状況への配慮、想像力がかけたことによりバラバラになってしまった職場が、大事なプレゼンの失敗をきっかけに、一人一人が自分の課題に気づき、次第にまとまっていく様子を描いた作品です。
D-83	企業 職場 一般	多様性を尊重した職場の コミュニケーションと人権 I	25分	27年	多様化する職場や人間関係の中で、ちょっとしたコミュニケーションの不和によって様々なハラスメントの芽は発生しています。どの企業でもあり得そうなショートドラマとその振り返りを通じて、多様性を尊重したコミュニケーションとは何かを視聴者に考えさせるドラマ教材です。
D-92	企業 職場 一般	コール&レスポンス -ハラスメント-	24分	29年	「コール&レスポンス」とは、ジャズのセッションでプレーヤー同士が呼応しあうこと、またコンサート会場で、プレーヤーと観客が呼応することを言います。本DVDでは、職場におけるコミュニケーションの重要性を「コール&レスポンス」というキーワードに仮託して考えていく作品です。
D-105	企業 職場 一般	企業活動に人権的視点を～C S Rで会社が変わる・社会が 変わる～	104分	26年	このビデオは、CSR(企業の社会的責任)や人権課題に関する企業の取組を啓発推進することを目的に、各地で開催した『企業の社会的責任と人権』セミナーにおいて、企業に発表いただいた実践事例をわかり易くまとめたものです。専門家による各事例の取組のポイントやCSRと人権課題に関する解説も収録しています。
D-106	企業 職場 一般	企業活動に人権的視点を②～ 会社や地域の課題を解決する ために～	97分	30年	国際的な人権意識の高まりなど、企業が果たすべき社会的責任が問われる時代のなか、企業は顧客、取引先、地域社会、従業員など様々な人々と関わりながら活動をしています。このビデオでは、どのように取り組むことが企業内外の人、地域や環境のためにもなるのか、先進的な5つの取組事例を紹介しています。
D-115	一般	「違い」を「力」にするため にー職場のコミュニケーション のヒントー	26分	令和元年	職場では、グローバル化や少子高齢化が進んだことで、より多様な人材が活躍する時代になっています。お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、新しい価値に転換する時代になっています。そのために、どんなコミュニケーションのあり方が必要なのか、事例をとりあげながら考えます。
D-116	企業 職場 一般	ハラスメントを生まないコ ミュニケーション グレー ゾーン事例から考える	25分	30年	一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴はひそんでいます。ハラスメントを生まないために、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていく内容となっています。

D-130	企業 職場 一般	今企業に求められる 「ビジネスと人権」への対応	36分	令和4年	「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たって、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などでわかりやすく紹介する。
D-133	一般	あなたは大丈夫？ 考えよう！デートDV	30分	令和5年	デートDVは大人だけではなく若者にとっても身近で深刻な問題です。被害者が一人で悩むケースが多く、解決には正しい理解が不可欠です。本DVDでは、デートDVの正しい知識を学び、被害者や加害者にならず、パートナーと対等な関係を築くための方法を深く考えます。

[テーマ] インターネット

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-5	一般	夕映えのみち	38分	18年	もし、わが子がインターネットを使って他の人の人権を侵したら、逆にわが子がその被害者になり、『いじめ』にあったら、あるいは学校や地域で同じ事件が起きたなら……。 「あなたなら、どうしますか？」と、問いかける作品です。
D-21	一般	なくそう 子どものネット悲劇 ー保護者用ー	17分	17年	子どもが安全に楽しくインターネットができるように、有害なサイトやメールでのトラブル、そしてやってはいけないこと等、具体的に開設します。
D-22	児童生徒一般	なくそう 子どものネット悲劇 ー生徒用ー	15分	17年	子どもが安全に楽しくインターネットができるように、有害なサイトやメールでのトラブル、そしてやってはいけないこと等、具体的に開設します。
D-27	一般	あの空の向こうに	38分	22年	「ケータイ・ネット社会と人権」をテーマに、インターネット等の利用にあたっての人権意識・人権感覚の重要性や、人と人のふれ合い、語り合いの大切さを訴え、こころ豊かなコミュニケーション社会を目指しています。
D-89	一般	インターネットと人権 加害者にも、被害者にもならないために	30分	28年	近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットにした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者にもなることも少なくありません。本DVDは主に中学生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめられています。
D-128	一般	スマホは情報モラルが大切① ～ネットいじめをしない！ SNSでの出会いに気をつけよう！～	24分	令和2年	多くの中学生・高校生が、スマホを使ってSNSを利用しています。SNSは他人とコミュニケーションをとるのに大変便利で、上手に使えば人生を豊かにし、社会を良い方向に変える力を持っています。反面、正しく使用しないと相手を傷つけたり、自分の身に危害が及ぶこともあります。SNSを利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投稿することが何よりも大切なのです。本作品では「ネットいじめ」「SNSでの出会い」の1つのテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。

D-136	一般	大切な人	34分	令和5年	<p>インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。</p>
-------	----	------	-----	------	--

[テーマ] ハンセン病

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-2	一般	ハンセン病 今を生きる	49分	17年	ハンセン病であるがために、幼いころから親と別れ、強制的に隔離された国立療養所長島愛生園のハンセン病患者の苦難の60年の歴史を描いたドキュメンタリー映像作品です。
D-48	一般	虎ハ眠ラズ	30分	23年	在日とハンセン病の二重の差別を受けながらも、人権運動の先頭に立ち続けた金泰九85歳。その苛烈な人生から我々が学ぶものとは。18歳の少女の目線で描かれた真実の歴史。
D-71	一般	ハンセン病とは？ ハンセン病を正しく理解するために	30分	25年	ハンセン病問題に対する正しい知識の普及啓発のために兵庫県が作成したDVDです。
D-79	一般	①ハンセン病問題 ※啓発担当者向け ②家族で考えるハンセン病 ※一般向け	①56分 ②20分	27年	ハンセン病問題に焦点を当て、啓発に携わる職員等に身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説を中心にまとめられています。また、一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。
D-117	一般	ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～	35分	30年	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。

[テーマ] 性的指向・性自認

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-74	一般	あなたがあなたらしく生きるために	30分	26年	誰もがありのままで受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるために、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この作品は、性的マイノリティについて人権の視点で正しく理解を深めることをねらいとしています。
D-104	一般	誰もがその人らしく～LGBT～	20分	29年	LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだ強固で、存在していてもなかなか見えない、その存在を見いだすのが現状です。この作品は、主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBTの人たちが見えてくることで見方もひろがり、誰もが生きやすい社会をつくることを考えるきっかけになるストーリーとなっています。
D-110	一般	LGBTシリーズ これが私の生きる道～仲間しゅん～	30分	令和元年	仲間しゅん、男性の戸籍をもちながら女性弁護士としてテレビやラジオ、さらに年間100回を超える講演で全国を飛び回っています。自身の体験や弁護士経験を裏付けに偏見や差別の不合理をスカッとぶった切りします。「皆違って、皆いい」の本質を詳細に解説する内容となっています。
D-111	一般	LGBTシリーズ パパは女子高生だった！～前田 良～	28分	令和元年	女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親となった前田良。血縁関係のない長男を法律上の子である「嫡出子」として認めさせる訴えを起こし、一審、二審では敗訴しましたが、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせました。妻の絵を使った処女作「パパは女子高生だった」も出している。
D-127	一般	パースディ	37分	令和4年	LGBT等性的少数者に対して、社会の理解が進まず、差別や偏見、配慮に欠けた対応などによる精神的苦痛や社会生活上の困難など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。多様な性について理解を深めるなかで、適切な態度や行動につながる人権感覚を磨くことをねらいとしています。
D-129	一般	性の多様性とLGBTQ+～誰もが自分らしく生きるために～	28分	令和4年	「性のあり方」はとても多様で、すべての人々に関りがあるものです。本作品は、「性のあり方」についての基礎知識をわかりやすく解説しながら、典型的でないといわれる性のあり方の人たちへのインタビューを通して、性には様々な形があることや、性的マイノリティを取り巻く実状についても伝えます。性のあり方について理解を深めることで、多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えていくことができる教材です。

[テーマ] 犯罪被害者等

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-40	一般	ある日突然最愛の娘を奪われて ～犯罪がその後にもたらすもの～	41分	20年	ストーカーに娘を殺害された被害者遺族をさらに傷つけたのは周囲の人々の心無い態度や言葉などや反応でした。二次被害の苦しみをドラマで再現するとともに、実際に被害に遭った被害者支援センターの職員の方などの解説を紹介しています。
D-41	一般	私たちにできること	23分	19年	集団暴行により、兄を亡くした友人とその母親が犯罪被害で苦しんでいるときに、自分たちに何が出来るかをドラマと犯罪被害者支援団体の関係者へのインタビューなどにより考えさせられる作品です。
D-42	一般	友達が被害者になったら	21分	21年	交通事故で弟を亡くした中学生の心情に迫りながら、犯罪被害者を支える大切さを考えるドラマです。また、被害者支援を行っている方へのインタビューを通して、被害者が置かれた状況や支援の流れについて理解を促す作品です。
D-45	一般	赦し —その遙かなる道—	100分	20年	残酷な殺人犯罪の犠牲者たち—残された者は、消えることのない憎悪を糧に一日一日を生き延びるため、殺人犯を赦す道を選択する。生きるとは、愛とは、そして赦すとは一体なにを意味するのか？それは本当に可能なのか。私たち現代社会に生きる者すべてに対して、究極の問いかけを突きつける感動のドキュメンタリー作品。

[テーマ] 女性・男女共同参画

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-14	一般	人権の扉をひらく	26分	16年	主人公は共働きの夫婦。お互い対等な関係でありたいというのが二人のモットーです。しかし、家庭、職場、社会でおこる様々な事例を通して、「思い込みの壁」「差別と偏見の背景」「パワーハラスメントと同調の弊害」など身近なところから人権について考えていきます。
D-91	一般	あした咲く	36分	29年	生き方の異なる姉妹が、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱え、姉妹での対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。自分で自分の生き方を選択し、すべての人が「自分の花」を生き活きと咲かせることのできる多様性を尊重する社会。その実現をめざすきっかけとなる作品です。

[テーマ] 平和

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-73	一般	忘れてはならない夏がある	33分	26年	もう二度と、こんなつらい思いをすることがないように・・・。広島・長崎で被爆し、現在は尼崎で暮らす二人の原子爆弾被爆者の語りを中心にイラストや資料映像を交えながら、忘れてはならない夏の記憶を辿っています。
D-103	一般	いわたくんちのおばあちゃん (アニメーション)	19分	20年	広島原爆にまつわる実話を基にした絵本『いわたくんちのおばあちゃん』をアニメ化した、平和教育のためのビデオです。文部科学省特別選定。このアニメの主人公は小学生です。友達のおばあちゃんの話聞くうちに、原爆や戦争のことを自分の問題ととらえ、平和への決意をしていきます。文部科学省特別選定。
D-143	児童 生徒 一般	お父さんへの千羽鶴	14分	令和5年	特攻隊員として散りゆく定めにあるお父さん。無事を願って送り出す家族。最後の任務に飛び立つお父さんの操縦席には、家族の祈りが込められた千羽鶴がありました。平和を守り続けるためにはどうすればよいのか、次の時代を担う子供たちに今こそ考えてもらいたい。そんな願いを込めたアニメーション作品です。

[テーマ] 東日本大震災

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-66	一般	みんな生きている	30分	26年	東日本大震災から3年。多くの人々が受けた心の傷。時間の経過とともに、被災の記憶が風化されていく中、被災地に限らず心に傷を抱えた人々、ケアする人々、すべての人々に求められる回復への問い。福島県浜通りを舞台に心の回復と再生を描いた作品です。
D-67	一般	P T G子どもの心の回復 —豊間小学校子ども映画学校—	20分	26年	東日本大震災の被災地では、子どもの心のケア、P T G（外傷後成長）の取り組みがおこなわれています。被災地の小学校で実施された子ども映画学校。それは子どもたちに傷ついた心と向き合い、地域を見直し、明日への希望や夢を与えるものでした。いじめ、児童虐待、家庭内暴力・・・傷ついた子どもの心に何が必要か。被災地の取組を通じて学びます。

[テーマ] 新型コロナウイルス感染症

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-119	一般	私たち一人ひとりができること～当事者意識をもって考えるコロナ差別～	26分	令和3年	新型コロナウイルス感染症に対する不安から、感染した方への誹謗・中傷や、特定の職業につく人々への不当な差別などの、いわゆる「コロナ差別」が問題となっています。本作品は、「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べる、ドラマ形式の人権啓発教材です。
D-122	一般	君が笑っていた —ソーシャルディスタンスの罠—	23分	令和3年	新型コロナウイルス感染は、感染者、その家族・親族や病院関係者への差別を生みました。単身世帯などすでに経済的に逼迫していた人々に加え、学生・一般世帯の人々をも厳しい生活状況へ追い込んでいます。本作品は、感染症で姿を変える社会の現実を通じ、差別のないあるべき未来とは何かを語り合うための教育映画です。

[テーマ] アイヌの人々

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-39	一般	アイヌモシリ アイヌ民族の誇り	25分	平成21年	アイヌの人々に対する理解の促進に関する作品です。アイヌの人たちの歴史とともに、生活や文化、現在も残る差別の現状などが紹介されています。

[テーマ] 刑を終えて出所した人

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-125	一般	フクロウ人形の秘密	30分	令和2年	この作品は、法務省が提唱する社会を明るくする運動の一環として全国の小・中学生を対象に実施されている作文コンテストの中で法務大臣賞を受賞した小学生の作文に再犯防止の問題を加え、脚色したものです。犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない社会を築くことを目指す内容です。

[テーマ] 拉致問題

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-17	一般	めぐみ (アニメーション)	25分	平成20年	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中で北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。

[テーマ] その他

番号	対象	題名	時間	製作年	内容
D-3	児童生徒 一般	あっ!危ない きみならどうする	27分	平成17年	子ども達の生命を守るために、低学年にも親しまれるお姉さんキャラクターとして春さくらが登下校・遊びの中・いろいろな危険な場所で登場し、子ども達と一緒に防犯・安全について学んでいきます。
D-53	一般	がんばってます! 自主防災 ～地域の力で減災～	25分	平成22年	自主防災組織は、阪神・淡路大震災以降、その活動が目目され全国的に増えてきたが、運営・活動が追い付かず、形だけのところが少なくない。もう一度、自主防災組織の在り方を問いながら、活動内容の充実している地域を取り上げ、その日常の活動を具に捉えて災害に強い街づくりの必要性を訴えている。
D-94	一般	白紙のページ	29分	平成19年	私たちは食肉文化を享受しているのに、食肉処理の過程は白紙のものとしています。本DVDは屠畜の現場を余すことなく記録し、食肉を支えている人々の思いを伝えます。「食」、それは最も身近な人権問題です。